

平成31年視察研修



平成31年3月3日(日)淡路島玉ねぎ栽培されている淡路島希望食品有限会社様の「2525ファーム」に視察研修に行かせていただきました。代表の榎田瞬様は、2012年に28才で淡路島に移住され会社を設立、若い数人で玉ねぎ、白菜等の栽培をされ、「日本一おいしい淡路島のたまねぎ」「蜜玉(みつたま)作りの挑戦」と称し、健全な経営をされている。我が「京丹波ほたるの里」においては、60才を超えたメンバーで運営しているというのと大違いで、玉ねぎの栽培方法より、経営方針の方を勉強させていただきました。1番に目玉商品を作る事、何かを仕掛けるときは必ずプレスリリース、テレビ出演実績が10回と多いのには、驚かされました。又、情報発信、SNSの活用をフルに巧みに利用されている。都会の生活が飽きて田舎で農業をしながらのんびりと暮らすというのではなく必死で経営をされている姿が感じられ、また、必死の中でも作業は、楽しくされている。本当に感心させられました。京丹波ほたるの里でも今回の研修を参考にし、希望ある農業を目指し頑張っていきたいと思いました。大勢のご参加ありがとうございました。

椎茸の原木作業完了

昨年、菌打ちした原木の本伏せ、今年、菌打ちした原木、仮伏せ作業を安井生産森林組合様のご協力により、中山のクヌギ林に置かせていただきました。仮伏せ、本伏せとも、直射日光が当たらない、風通しが良い、排水がよい、乾きすぎてもダメと厳しい条件がございますが、専門家の指導の下設置作業を完了させていただきました。切り倒し作業、玉切り作業、運搬作業、菌打ち作業、伏せ込み作業と危険を伴う作業を無事完了させていただきました。後は、肉厚の椎茸が出てくれるのを待つばかりです。ありがとうございました。又、原木のご購入をしていただきましてありがとうございました。御礼申し上げます。

美しいふるさとをみんなの力で守っていこう！